

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

地理歴史 科目 地理総合

教 科： 地理歴史 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：内田 ） （2組：内田 ） （3組：内田 ） （4組：内田 ） （5組：内田 ） （ 組： ）

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合 帝国書院 ）

教科 地理総合 の目標：

【知 識 及 び 技 能】地図や資料の内容を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】地図や資料から情報を正しく読み取り、表現する。

【学びに向かう力、人間性等】知識・思考力を身につける課題に対して、意欲的に取り組む。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文化や言語、宗教の異なる様々な人々の生活について理解を深め、地球的課題、自然環境と自然災害について知識を身に付ける。地図や資料を読み解く力を身に付ける。	世界の様々な人々の生活や地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題などの地球的課題について多面的・多角的に考察し、表現する。	平和で民主的な国家・社会を切り拓く総合力を培い、21世紀の持続可能な社会づくりに向け、主体的に行動しようとする姿勢を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地球上の位置と時差を理解する。地図の役割と種類について理解する。	地球上の位置は緯度や経度で表すことができる。地球上の位置の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。また、時差は私たちの生活とどのように結び付いているのだろうか。	【知識・技能】緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響、時差のしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】上記の内容について多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	6
	現代世界の国家と領域について理解する。	世界にはさまざまな国家がある。国家の領域や国境はどのように定まっているのだろうか。また、日本の位置や領域にはどのような特徴があるのだろうか。	【知識・技能】国境の種類、国家の領域、国家の主権について理解している。 【思考・判断・表現】上記の内容について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】上記の内容について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		1
	世界の地形と人々の生活について理解する。	地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形がある。人々はこうした地形とどのように関わり合っているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。	【知識・技能】陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。 【思考・判断・表現】上記の内容について、考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】上記の内容について主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考查			○	○		1
2 学 期	世界の気候と人々の生活について理解する。	気温や降水、風などの気候要素は場所によって異なる。人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わり合っているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。	【知識・技能】気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】上記の内容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】上記の内容について主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
	世界の言語・宗教と人々の生活について理解する。 追究事例：イスラームと人々の生活の関わり（中央アジア・西アジア・北アフリカ）	中央アジアから北アフリカにかけての地域では、イスラームを信仰する人々が多い。この地域の生活文化は、宗教からどのような影響を受けているのだろうか。	【知識・技能】ムスリムの生活、三つの言語集団と生活習慣の地域差、農業、石油資源について理解している。 【思考・判断・表現】上記の内容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】上記の内容について主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	世界の言語・宗教と人々の生活について理解する。 追究事例：ヒンドゥー教と人々の生活の関わり（インド）	インドには、大勢のヒンドゥー教徒が暮らしている。インドの人々の暮らしに、ヒンドゥー教はどのように関わっているのだろうか。	【知識・技能】南アジアの民族と歩み、ヒンドゥー教と人々の生活への影響、多様な言語、農業、産業について理解している。 【思考・判断・表現】上記の内容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】上記の内容について主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	世界の産業と人々の生活について理解する。 追究事例：産業力が世界の生活文化に与える影響（アメリカ合衆国）	アメリカ合衆国では、世界標準の工業製品が生み出されたり、世界の食を支える農産物が生産されたりしている。この国の産業は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	【知識・技能】穀物メジャー、適地適作の農業、移民国家としての発展、多民族国家で生まれた文化について理解している。 【思考・判断・表現】上記の内容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】上記の内容について主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4

	世界の産業と人々の生活について理解する。追究事例：経済成長による人々の生活の変化（東アジア）	東アジアは第二次世界大戦後に急速に経済成長が進んだ地域である。中国や韓国などでは、どのような生活文化がみられ、経済成長の影響を受けて、どのように変化しているのだろうか。	【知識・技能】東アジアの経済急成長の歩み、経済成長と生活の変化、経済格差、環境問題について理解している。 【思考・判断・表現】上記の内容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】上記の内容について主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	世界の産業と人々の生活について理解する。地域統合が人々の生活や産業に与える影響（ヨーロッパ）	ヨーロッパでは、二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合が進められている。EUの統合によって、ヨーロッパの人々の生活文化はどのように変化してきたのだろうか。	【知識・技能】国境を自由に移動できる生活、キリスト教の文化、EU統合の歩み、共通農業再作、産業について理解している。 【思考・判断・表現】上記の内容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】上記の内容について主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	日本の地形、地震・津波と防災について理解している。	変動帯に位置する日本は、数多くの地震によってさまざまな被害を受けてきた。地震や津波は、どのような被害をもたらすのだろうか。また、地震や津波の発生に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。	【知識・技能】地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について理解しており、地理的技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】上記の内容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】上記の内容について主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
							合計
							70